

生産性のある、確かな農業に
向かって全力疾走！



事業主体／雨 竜 町

〒078-2892
北海道雨竜郡雨竜町字フシコウリュウ104番地
TEL(0125)77-2211
FAX(0125)78-3122

管理運営／JA きたそらち農業協同組合 雨竜支所

〒078-2607
北海道雨竜郡雨竜町字満寿30番地の193
TEL(0125)77-2331
FAX(0125)78-2463

施工管理／ホクレン農業協同組合連合会

設計施工／ヤンマー農機株式会社

雨 竜 町 ライスコンビナート

RAYU TOWN RICE COMBINAT

田園の里
“雨竜町”で育ちました。



雨 竜 町 ・ JA きたそらち雨竜支所



消費者、米市場の需要に応え。
高品質で均質な米を生産し、
安定供給を目指します。

雨竜町ライスコンビナートの概要

1. 建設場所

穀類乾燥調製貯蔵施設 雨竜町字満寿28番地の83 外4筆
 初穀膨軟化処理施設 同 上
 初穀堆肥化施設 雨竜町字満寿26番地の107 外6筆

2. 敷地面積

穀類乾燥調製貯蔵施設 敷地 18,019.00㎡
 初穀膨軟化処理施設 敷地 8,791.04㎡
 合計 26,810.04㎡
 初穀堆肥化施設

3. 総事業費

財源内訳 国庫補助金 736,983千円
 地方債 1,214,100千円
 自主財源 3,473千円
 1,954,556千円

4. 主要施設

1) 穀類乾燥調製貯蔵施設 建築面積 2,823.26㎡
 作物・初貯蔵サイロ 480t×12基
 2) 初穀膨軟化処理施設 建築面積 600.00㎡
 3) 初穀堆肥化施設 建築面積 1,807.50㎡

■穀類乾燥調製貯蔵施設の概要

補助事業名称 農業生産体制強化総合推進対策事業
 名称 雨竜町穀類乾燥調製貯蔵施設
 所在地 雨竜町字満寿28番地の83 外4筆
 敷地面積 18,019㎡ (初穀膨軟化処理施設敷地含む)
 設計施工管理 Hokuren農業協同組合連合会
 建築面積 2,823.26㎡
 建設事業費 1,655,283千円
 主要機械設備
 荷受処理能力 30t/h×2系列 4ホッパー
 乾燥機容量 20t×6基
 プールタンク容量 20t×12基
 初摺処理能力 4t/h×3基
 玄米タンク容量 20t×6基
 屑米タンク容量 20t+10t+10t
 出荷装置能力 1tフレコン 20t/h×1基
 30kg紙袋 6t/h×1基
 60kg樹脂袋 7t/h×1基
 サイロ貯蔵容量 480t×12基
 精選売渡能力 12t/h×2基
 処理内容 処理面積 1,200ha
 処理量 8,208t (18%半乾初)
 荷受水分 18%

■初穀膨軟化処理施設の概要

補助事業名称 山村振興等農林漁業特別対策事業
 名称 雨竜町初穀膨軟化処理施設
 所在地 雨竜町字満寿28番地の83 外4筆
 敷地面積 18,019㎡ (穀類乾燥調製貯蔵施設敷地含む)
 設計施工管理 Hokuren農業協同組合連合会
 建築面積 600㎡
 建設事業費 120,509千円
 主要機械設備 初穀庫容量 800㎡
 機械能力 0.8t/h×プレスバンダー 3基

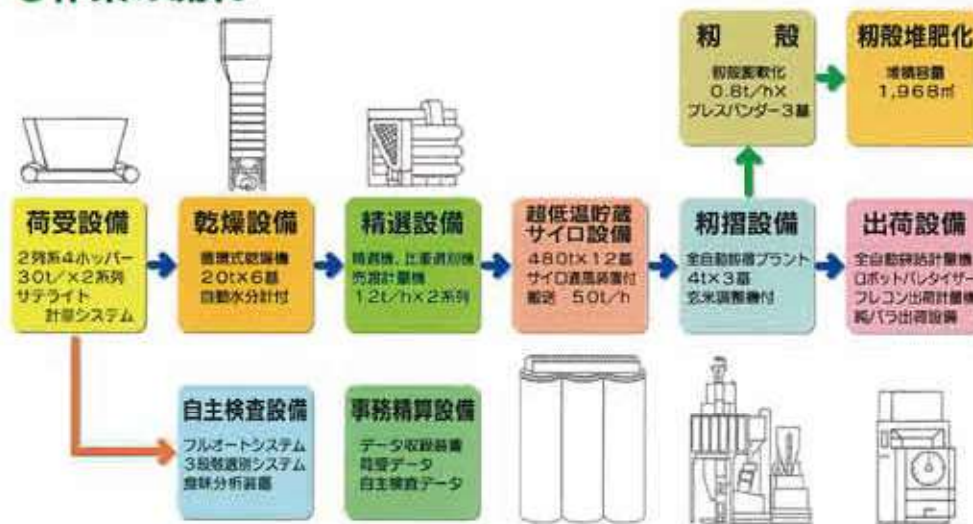
■初穀堆肥化施設の概要

補助事業名称 山村振興等農林漁業特別対策事業
 名称 雨竜町初穀堆肥化施設
 所在地 雨竜町字満寿26番地の107 外6筆
 敷地面積 8,791.04㎡
 設計施工管理 Hokuren農業協同組合連合会
 建築面積 1,807.50㎡
 建設事業費 178,764千円
 主要機械設備 堆積容量 1,968㎡
 オイルローダー 1台

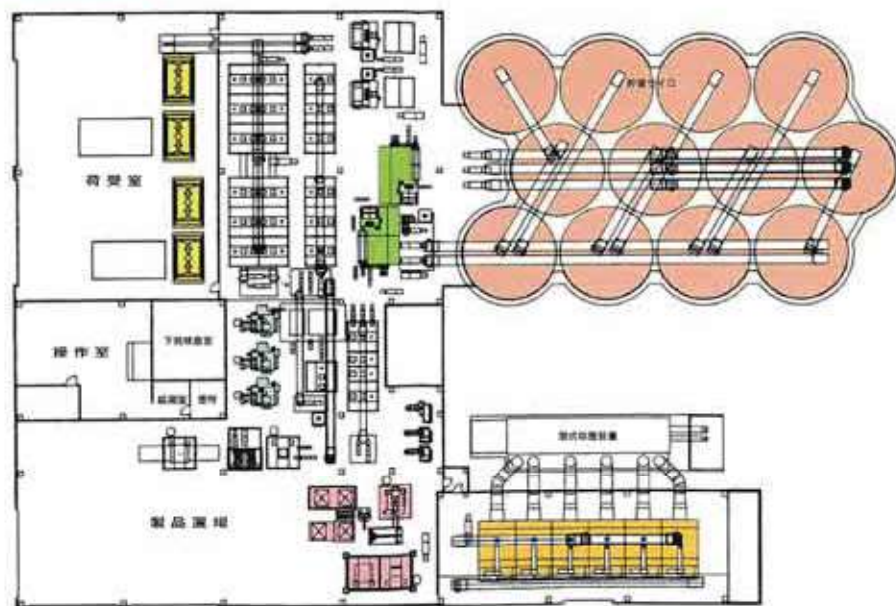


品質の向上とスムーズな作業を可能にする 最新鋭のシステム。

作業の流れ



施設配置



自然を見方に!!

「超低温貯蔵」

超低温貯蔵とは

超低温貯蔵は、米は凍らないという特性を生かし「粳」を氷点下の温度で貯蔵する北海道で開発された新貯蔵技術です。

米を良い品質のまま貯蔵するには、温度を低くして米を休眠状態にする（生理活性を低下させる）事が大事です。

超低温貯蔵で粳の休眠効果を高め熟したお米は、生命力の消耗が少なく新米と極めて近い状態に「鮮度と食味を」保持することが出来ます。

また、出荷時には、粳の温度を常温近くまで戻すことで粳が目覚め、新鮮さを取り戻します。

超低温貯蔵の定義

- ・超低温貯蔵は、貯蔵中の粳の温度を氷点下にする貯蔵方式。
- ・低温貯蔵よりさらに低い温度で、より品質保持効果が高いことからつけられた名称です。
- ・実用レベルでの超低温貯蔵は、貯蔵期間中の粳の温度が15℃以下で、かつ、1ヵ月以上の期間粳の温度が氷点下である貯蔵条件と定義しています。



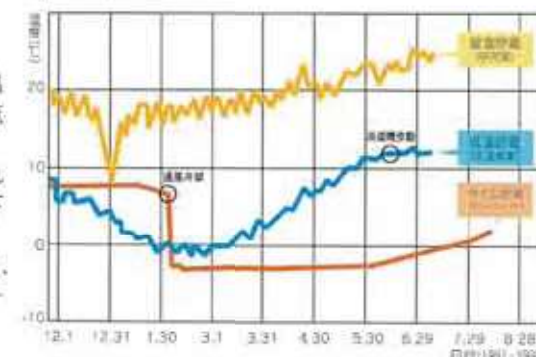
冬の冷気を通風（-5℃以下）

貯蔵中の温度の変化

2月の外気通風冷却によりサイロの粳温度は-3℃まで低下し、7月中旬まで氷点下の温度に保たれた。

北海道の低温倉庫は冬に自然に冷却されるため、粳温度は5月中旬まで10℃以下に保たれる。

（貯蔵中の平均温度は、室温貯蔵18.6℃、低温貯蔵5.0℃サイロ貯蔵が0.8℃、-5℃貯蔵が-5.1℃）



安全、衛生面を徹底管理。最新鋭のシステムは

大幅に作業効率のアップを実現します。

URYU TOWN RICE COMBINATION



中央監視制御室

施設内の装置全ての監視をコンピューターで行い、タッチパネル方式による自動運転、データ管理、故障管理等の集中監視を行います。



比重選別機

米を精度の高い状態で保存するために、比重選別機を設置しています。



粉播機

ゴムロール間隔及び圧力は自動調整され、選別もオートセンサーで米と衣米を分離し、石抜き機もセットしています。



下見検査装置

半乾米を荷受けすることにより、タンパク値及び品質に応じたロット仕訳を可能にしています。



自主検査装置

テストドライヤーにより乾燥されたサンプルを品種別に3段階に選別することができ、品種や作柄に応じた品質・歩留等を自動判定し個人持分を算出します。



色彩選別機

着色粒だけでなく、硝子等の異物除去も可能とした新型色彩選別機を設置しています。



未熟粒比重選別機

未熟粒の再選別として粒選別機・比重選別機を設置し、需要に応じた屑米の出荷が可能です。



荷受ホッパー

荷受時に生じる粉塵の飛散を防止するため、除塵フードを設置しています。



乾燥機設備

20t×6基



出荷設備

流通形態に対応した1tフレコン・30kg紙袋・60kg樹脂袋に加え純バラでの出荷が可能です。

粃殻の有効活用で有機物を還元。



粃殻膨軟化処理施設
建築面積 600.00㎡
機械能力 0.8t/h×プレスバンダー 3基



粃殻堆肥化施設
建築面積 1,807.50㎡

暑寒の清流米

雄大な暑寒別連峰から流れる清らかな水を資源として栽培された雨竜町産のお米を「清流米」と呼んでいます。

(「清流」商標登録 第4365531号)

雨竜米

暑寒の清流と、粃殻堆肥等の有機物を豊富に使い減農薬で栽培された「ほしのゆめ」。
ライスコンビナートにて「超低温貯蔵」し、「今播り」「産地精米・直送」でいつでも新米のおいしさをお届けします。



雨竜町の概要

■雨竜町位置図



■雨竜町ライスコンビナート位置図



道内5番目の固定公園として平成2年3月に誕生した暑寒別連峰国立公園。所轄沼澤帯はその南端に位置します。隣近に標高1,200メートルの南支那山をのぞき、四季折々にすばらしい表情を見せる「雨竜沼澤帯」は日光の反射にも彩られる大規模の沼澤帯です。登山シーズンは6月中旬から10月上旬。
登山口から約4キロメートルの山あきと見わたると、ゆるく傾斜した沼澤に広がる水田と山並み植物がまたもや見えます。
標高850メートルの湿原に様々な形状の大小100余りの沼が点在しており、ミズバショウ、ヒメシャクナゲ、エゾカンゾウ、ワタスゲ、エゾヒメシャクナゲ、ヒメウキアヤメなど高山性または沼澤性の植物が多数見られます。
沼澤には4キロほどの水の遊歩道があり、道内外から訪れる大勢の観光客を楽しませてくれます。

北海道の尾瀬として知られる、雨竜沼澤原の大パノラマ。



勇壮な白竜の滝
まるで白い竜が
天に昇るよう。



北海道の開拓の歴史
先達の思いに触れる。

四季を通じて学術的にも貴重な動植物たちの生息が見られる雨竜沼澤帯には半島の大自然が息づいているのです。
雨竜開拓の歴史を伝える史跡公園は、開拓の基盤となった旧秋田県立農業学校の跡地を利用したもので、全29ヘクタールの敷地には開拓の豪傑・アカマツの墓をはじめ、墓地在広がっています。
町民が自由に利用できる「記念館の森」や「雨竜沼澤帯」の文化財に指定されている明治27年建築の旧秋田県立農業事務所を利用した開拓記念館などがあり、町民の憩いの場として広く利用されています。